

2021 年度 中学入試

傾向と対策



 東京家政学院中学校

目次

◎教科型入試

- 国語……………1
- 算数……………2
- 社会……………3
- 理科……………4
- 英語……………5

◎適性検査型入試（区立型）

- 適性検査1……………6
- 適性検査2……………7
- 適性検査3……………8

◎新タイプ入試

- プレゼン入試……………9
- フードデザイン入試……………10
- SDGs 入試……………11

2021年度中学入試

国語



出題構成と配点例

1 長文問題（説明文）（60点）

説明文一つの出題です。解く時間はじゅうぶんにありますから、本文をていねいに読み、設問に合わせた解答をする練習をしておきましょう。

2 国語の知識に関する問題（25点）

- ① 文法（ことばのきまり）
- ② ことばの知識（ことわざ・慣用句など）
- ③ 文学史に関する知識

などから出題します。

3 漢字（書き取り・読み取り）（15点）

漢字検定5～7級の範囲の漢字です。（書き取り10点、読み取り5点）
正確に書き取られているかを確認します。

傾向

出題のねらいと昨年受験者の得点傾向

1 出題のねらい

みなさんが身につけてきた基礎的な国語力をみるのがねらいです。
そのため、読解問題・国語に関する知識問題・漢字問題とも、基本的な問題がほとんどです。

2 昨年度受験者の傾向

- ・漢字・ことばの知識で点数を落としている人が多いです。
（覚えればそれだけ点数に結びつく部分です。）
- ・読解問題では文と文のつながりを読み取れていない答案が目につきます。
（接続語のはたらきや指示語に注意しましょう。）

対策

- ・指示語（この・あの・その など）の指している内容を問う問題が高確率で出題されます。
ふだんから、指示語が出てきたら何を指しているか考えるようにしましょう。
- ・文章の中で使われていることばの意味を問う問題もしばしば出題されます。
日ごろから文章の中で意味の分からないことばが出てきたら調べる習慣をつけましょう。
- ・必ず出題される記述問題は、何を聞かれているのかを確認して、文末を問題に合わせる練習をしておきましょう。

(例) …はなぜですか。 →～から。
…はどういうことですか。 →～こと。

2021 年度 中学入試 傾向と対策

算 数

《出題の構成と配点例》

1 基本の計算・一行問題

○12 問程度で構成されています。前半は小数や分数を含む基本的な計算問題、後半は還元算、比、速度、単位、濃度といった基本的な文章題を出題します。

2 図形に関する問題

○図形について、オーソドックスな角度、長さ、面積、体積を求める問題、または作図など、3～4 問程度出題します。

3 特殊算を含む文章題

○一般的な特殊算を 2～3 問程度出題します。いずれも難易度はそれほど高くありませんが、問題文がやや長いのが特徴です。

4 応用問題

○長めの説明文、グラフなどが提示され、それに従って解いていく応用問題を出題します。ただ計算するのではなく、グラフの理解、長文読解や変数(常に変化していく値)の把握といった応用力を確かめます。3 問程度の構成で、前半は比較的解きやすい内容になっています。

【配点】 100 点満点で、1問あたり 4～5 点の配分になります。前半の計算問題も後半の文章題も配点は変わりません。

《全体的な傾向と対策 & 受験生へのメッセージ》

中学入学後に必要となる『数学力』の基盤ができているかをみることを主眼として出題していますので、全体を通して難問・奇問は出題していません。基本的な計算技術、比などの小学校で扱う各単元の基本事項を確実に解けるようにしましょう。特殊算についても、易しくはありませんが、一般的な市販の対策問題集で十分対応できるレベルですので、問題数をこなしていけば解けるはずです。応用問題も、最初の何問かはシンプルな問題になっているので、落ち着いて問題文を読みましょう。

また配点はほぼ均等にしてあり、応用問題の配点が高いことはありません。一問一問丁寧に解けば十分得点できるでしょう。

作図については、コンパスを上手く扱えるように練習しましょう。定規、コンパスの扱いは中学数学においても必要なスキルとなります。

2021年度中学入試 傾向と対策 社会科

2020年度入試 出題内容と結果分析

〈地理〉20点満点

- ・都道府県の位置と地形について
- ・グラフ、統計など資料の読み取り

〈歴史〉20点満点

- ・特色ある人物、事件と時代の特徴
- ・古代から現代までの歴史の流れ

〈公民〉10点満点

- ・おもなニュースを題材とした問題

〈受験生が苦手としているポイント〉

- 地理的分野：グラフ、統計の読みとり
- 歴史的分野：時代の並び替え、史料問題
- 公民的分野：三権（国会・内閣・裁判所）の関わり

基礎知識を土台とした思考力・判断力を問う問題が苦手

○2021年度入試 入試で求められる学力像と出題内容の傾向・対策

基礎学力の理解・定着を問う問題 と **思考力・判断力などの応用力を問う問題** を出題

50点満点(地理20点 歴史20点 公民10点)

【1】基礎学力の理解・定着を問う問題

- 地理：日本の地形、都道府県の位置、日本の都市、基本的な資料の読み取り、(世界地理)話題となった国地域
- 歴史：歴史上の有名な人物・事件・年代や、時代の特徴
- 公民：日本国憲法、政治のしくみ、選挙、国内・国外の話題となったニュース

基本問題アドバイス～勉強のポイント～

- 【地理的分野】：①白地図を多用し、都道府県の位置や地形を書きこんでいく。
②新聞やテレビで取り上げられた地域・出来事に興味を持ち地図で場所を確認する。
- 【歴史的分野】：③歴史的に有名な人物・事件を漢字で書けるように、何度も書いて暗記する。
④時代の特徴と流れをつかむために、事件・人物を書きこんだ年表をつくる。
- 【公民的分野】：⑤憲法の三大原則や基本的人権を、前文や条文を見ながらまとめる。
⑥新聞やニュースで取り上げられた出来事を整理する。

【2】思考力・判断力などの応用力を問う問題

- 地理的分野：さまざまな地図やグラフ、統計資料の読み取り
- 歴史的分野：古代から現代までの歴史の流れ、資料(絵・写真など)と史料(法律や命令の文書など)の読みとり
- 公民的分野：日本の政治のしくみ(三権の役割とその関わり)

基本問題アドバイス～勉強のポイント～

- 【地理的分野】：①雨温図・県別生産グラフから、地域の特徴を比較し把握する。
②多種多様な地理の特徴を理解し、活用する。
- 【歴史的分野】：③農民史や外交史など、テーマごとに歴史の流れを理解する。
④歴史上重要な史料(資料)を理解し、暗記する。
- 【公民的分野】：⑤話題となった国内外のニュースを一覧表にまとめる。



受験生のみなさんへ

- ☆まずは基本をしっかりと身につけましょう！
- ☆勉強する際は、地図やグラフ・さまざまな資料に必ずふれましょう。

2021年度 中学入試理科の傾向と対策

傾向

昨年は各科目 6～7問 ずつの合計 50点 満点で、選択・記述・計算・グラフと単純なものから考えるものまで色々な問題を出題した。

- 【物理】 てこ・ふりこ・運動・エネルギー・電流・磁石・ものの温まり方
→ 1回の試験に2分野ずつ出題
- 【化学】 ①水よう液→性質や反応を問う問題
②気体の発生→反応と性質を問う問題
③もののとけ方→表や図を見ながら性質を問う問題
- 【生物】 植物・動物のからだのしくみ・はたらき
- 【地学】 月の満ち欠け、天体の1日の動き、天気の変化、大地の変化、
流れる水のはたらき

対策

- ①教科書（4・5・6年）をよく読む。
- ②実験器具の名称や使い方も覚える。
- ③図やグラフのある問題演習も行う。



※今年度も各科目 6～7問 ずつの合計 50点 満点で、基礎・基本的事項を出題する。

- 【物理】 てことふりこは細かい計算力が必要
エネルギー・電気・熱などは論理的な考え方が重要
- 【化学】 基礎・基本的な問題に加えて、計算力と実験や結果の表からの類推力
実験から最終的に何が導き出されるかという分析力
- 【生物】 基本的な言葉をしっかり覚えておくこと
実験をよく理解しておくこと
- 【地学】 月の満ち欠けは、日頃から月のようす（月齢・時刻・位置）に注意
天気の変化は、グラフや表を読みとる分析力が必要

2021 年度 中学入試 英語

《出題構成と配点例》

1. 筆記試験 70 点 (25 分)

- ・ 単語、熟語、文法の知識を問う問題 (記述・選択式) 40 点程度
- ・ 会話表現問題 (選択式) 10 点程度
- ・ 日本文付き短文の並べかえ (選択式) 10 点程度
- ・ 読解問題 (選択式) 10 点程度

英検 3 級以上取得者は、筆記試験を免除します。

2. 面接試験 30 点 (5 分程度)

ネイティブ教師による英語での面接 / 受験生自身に関する質問が中心

《傾向》

英検 4 級～3 級程度の基礎的な問題を中心に出题

《対策》

【筆記試験】

- ・ 身の回りにあるものの名前を英語で書けるように練習しておきましょう。
- ・ 基礎的な文法事項をしっかりと確認しましょう。(be 動詞・一般動詞の使い方、過去形、未来形、進行形、助動詞、不定詞、現在完了形、分詞、接続詞など)
- ・ 日常生活の場面で使う基本的な表現を学び、使えるようにしておきましょう。
- ・ 並べかえ問題は、前後の語句とのつながりや単語の品詞に注意しましょう。
- ・ 読解問題は、掲示、メモ、Eメール、手紙文、説明文などから出題します。「何を伝えるためのものなのか」に注目し、質問文と本文をよく読み比べて、必要な情報を探しましょう。
- ・ 25 分間の試験なので、時間配分に気をつけましょう。

【面接試験】

- ・ 大きな声ではっきりと発音することが大切です。
- ・ 自分の名前や年齢、住んでいる場所などのほか、趣味、好きな食べ物やスポーツ、将来したいことなどについて質問されるので、英語で答えられるように練習しておきましょう。

I 出題の意図

九段中等教育学校の昨年度の適性検査問題 1 に準じています。

II 出題傾向

- ・問題数：2 題／100 点満点
- ・1 題目（物語文の読解）：
 - ①内容把握問題
登場人物の心情の理解に関する問題（穴埋め・記述式）・2 問程度
 - ②文章をふまえた作文問題
本文の内容をふまえた短い作文問題（50～60 字程度）・1 問
- ・2 題目（説明文の読解）：
 - ①内容把握問題
筆者の主張の要旨の理解に関する問題（記述式）・1 問
文章の構造（文と文のつながり）の把握に関する問題・2 問程度
 - ②文章をふまえた作文問題
筆者の主張をふまえて自分の考えを述べる作文問題（200～240 字程度）・1 問

III 出題する文章の傾向

・物語文は、易しく読みやすい内容です。説明文は物語文よりもやや難しいですが、どちらも身近なことがらをテーマとしています。

IV 採点基準

- ①内容把握問題
模範解答に準ずる解答には部分点が与えられます。
 - ②文章をふまえた作文問題
減点対象となる場合
 - ・誤字・脱字がある場合。
 - ・字数超過（制限字数枠をはみ出した場合）。
 - ・極端な字数不足（制限字数の半分に満たない場合）。
- ※自分の意見を述べる問題では、以下が減点対象となることはありません。

- ・書き出しは 1 マス目から始めても、1 マス空けて始めてもよい。

○ ○ ←どちらも可

私	
は	私
こ	は

- ・行の最後の句読点は、枠外でも枠内でもよい。

○ ○ ←どちらも可

い	い
ま	ま
す	す。

。

V 得点するための対策

- ・課題文の内容を正確にとらえることが大切です。国語の問題集を用いて説明文の問題に取り組みましょう。
- ・自分の考えをわかりやすく伝えるために、論理的な文章構成（序論・本論・結論）で書けるようにしましょう。



適性2

出題構成と配点例

大問は算数が主の1問と社会が主の2問で合計3問、全体で20問程度出題します。答え方は計算結果の単答や記号の選択、理由や考え方の記述、図示などです。大問ごとの配点は全体の3分の1ずつ、観点ごとの配点は生活知識・理解の問題が少なく、思考・表現と数的処理が主となります。

傾向

ほとんどの問題が、会話文・問題文を読み取る総合問題で、途中式を含む計算の問題および記述式で文章を書いて答える問題や記号選択や空欄に適語を記入する形式です。作図の問題が出題される場合もあります。

問題は生活知識・理解、思考・表現、数的処理の3つの観点に分類されますが、生活知識、理解にあたる問題が少ないので数的処理と思考・表現の問題が主となる予定です。

対策

資料を分析する力と自分の考えを述べる力を身につけましょう。身近な事象と関連付けた資料に多く触れておくことが重要です。それぞれの解答について、自分の考えを表現できるようにしておきましょう。また、問題文で与えられた条件を見落とさず、丁寧に考えて計算する習慣をつけましょう。



適性3

出題構成と配点例

大問は3問（理科を下地にしたものが2問、算数を下地にしたものが1問）それぞれ6，7問前後で構成しています。答え方は単答、理由や考え方の記述、図示などになります。

問題ごとの配点は全体の3分の1ずつ、観点ごとの配点は生活知識・理解が少なめで、思考・表現と数的処理が主となります。

傾向

問題は生活知識・理解、思考・表現、数的処理の3つの観点に分類されます。傾向として数的処理の割合が大きく、生活知識・理解の割合は小さくなっています。作図に関しては、出題する予定ですが、適性の2、3のどちらで扱うかは未定です。

対策

身の回りのものや事柄について、日頃から関心を持つようにしましょう。成り立ちや理由にわからないところがあれば調べて解決するようにしておくといでしょう。

また、問題文で与えられた条件を見落とさず、丁寧に考えて計算する習慣をつけましょう。

2021 年度中学入試 傾向と対策

2 月 1 日 午前 プレゼン入試

** プレゼンテーション **

**「自分ががんばってきたこと」
「意欲的に取り組んできたこと」を
アピールしてください。**

題材（テーマ）は自由です。

小学校での活動（クラブ・委員会・自由研究等）や、
学校外での活動（スポーツ・芸術・ボランティア等）など、

あなたはどんなことに一生懸命取り組んできましたか。

大会やコンクール等での優勝等の実績自体ではなく、プレゼン力を評価します。
活動報告書(20点)と面接(80点)で、100点満点です。

活動報告書(20点満点)

事前に提出です。わかりやすく読みやすくなるように工夫し、丁寧に書きましょう。
活動内容を証明できる書類などがあれば、写しを裏面に貼ってください。

面接（発表と質疑応答）(80点満点)

一人あたり10分です。

3～5分でプレゼン（発表）、残りの時間を質疑応答とします。

2分以内で動画をプレゼンに使用することができますが、電源も含めて機器等の
貸出はしません。使用するものは、各自で用意してください。

採点のポイント

- ・何をアピールしたいのか、わかりやすく簡潔にまとめられていますか。(20点)
- ・内容についての質問に、適切に答えられるでしょうか。(20点)
- ・映像や図表などの材料を工夫し、効果的に使っていますか。(20点)
- ・相手の目を見て、大きな声ではっきりと話すことができますか。(20点)

** 学力テスト 国語または算数 45分 **

どちらも100点満点です。

プレゼンテーションと学力テストを総合的に評価します。

家庭科を題材にした身近な生活のことがらに興味を持ち、その調理性や生活の工夫について自ら考察し、自分なりの意見を発表できる能力をはかります。



小学校家庭科の内容に対して能動的に活動する姿勢を評価する入試です。(60分・100点満点)

- ・実験型の授業形式において、思考力・創造力・表現力を評価します。

- ・思考・創造過程における発表・ワークシートへの記入が活動の中心となります。



小学校家庭科の食生活の分野の題材を扱います。

- ・実験では、教科書にのっている調理実習の内容を題材として取り扱います。

- ・実生活の中で身近なことがらを取り上げます。



実験後、ワークシートに結果をまとめ、発表します。

- ・実験後、振り返りの時間を設定します。(10分～15分)

- ・理解したこと、気づいたこと、工夫したことを記入、発表します。

受験生へのアドバイス



普段の食生活のなかで経験しているさまざまなことがらに興味を持ちましょう。

- ・毎日の食事は、どのような調理方法によってできあがっているのか、観察しましょう。

- ・教科書にのっている調理実習を実践しましょう。また、調理をすることによって、食品にどのような変化が起きているのかを理解しておきましょう。



自分の考えをまとめる力を身につけましょう。

- ・ワークシートへの記入では、文章にまとめる作業が求められます。

評価方法について

(一部) 一本校ルーブリックに準拠



他者と協力して問題の解決に向けた行動をとることができるか。

- ・グループワークを通して、周囲の受験生と積極的にコミュニケーションを取る姿勢を評価します。



実験の結果を記録・整理できているか。

- ・目的意識を持って、実験の経過を事実に基づいて論理的に理解しているか、食品の扱い・調理・栄養的知識や関心をはかります。



自らの知識・技能を用いてテーマや問題を発見・解決することができるか。

- ・実験の内容をふまえ、「創造的活動」を行い、学習成果を表現する力が求められます。

- ・調理器具・計量道具を正しく扱えるか。その際、分量の計算が正しくできるか。また、具体的に応用できる生活の経験があるかが問われます。

2021年度 中学入試 傾向と対策 SDGs入試

私たちのまわりの身近な生活の諸事象に興味を持ち、その影響や問題点について主体的に考察し、自分なりの意見を形成できる能力をはかります。



学習課題に対して積極的に活動する姿勢を評価する入試です。(70分・100点満点)

- ・授業者と受験生が一体となる授業形式において、**思考力・判断力・表現力**を評価します。
- ・思考・判断過程における発表・ワークシートへの記入が活動の中心となります。



SDGsの17のゴールに関係する事柄を扱います。

- ・講義では、主に**理科**および**社会**的内容を題材として取り扱います。
- ・実社会・実生活の中にある身近な事象を取り上げます。



講義後、ワークシートに学習の成果をまとめ、発表します。

- ・講義・活動終了後、**振り返りの時間**を設定します(10分～15分)。
- ・**理解したこと、気づいたこと、疑問に感じたこと**を記入、発表します。



評価方法について(一部)ー本校ルーブリックに準拠ー



他者と協力して問題の解決に向けた行動を取ることができるか

- ・グループワークを通して、**周囲の受験生と積極的にコミュニケーションを取る**姿勢を評価します。



多方面からの情報を関連づけて記録・整理ができているか

- ・授業内では図・グラフ・イラストなどさまざまな資料が提示されます。これらから必要な情報を読みとり、**類似点や相違点を抽出する**力が必要になります。



自らの知識・技能を用いてテーマや問題を発見することができるか

- ・授業の内容をふまえ、最後には「創造的活動」を行い、**学習成果を表現する**力が求められます。